２０２４年度　文部科学省　中卒認定　数学　度数分布とさいころの

文部科学省　２０２４年度　中学校卒業程度認定試験　数学

文部科学省ウェブサイト利用規約（公共データ利用規約　第１．０版準拠）

対象ページを抜粋し、出典表紙を追加。

https://www.mext.go.jp/content/20250410-mxt_syogai02-mext_000038581_03.pdf

https://www.mext.go.jp/b_menu/1351168.htm

5 次の1，2の各問いの答えを解答用紙の答えのらんに書きなさい。

1 下の表は，A中学校とB中学校のバスケットボール部の生徒が1人ずつ1分間シュートをうち続け，シュートを決めた本数をまとめたものである。

バスケットボール部の生徒が1分間でシュートを決めた本数の記録

階級(本) 以上　未満	A中学校		B中学校	
	度数(人)	相対度数	度数(人)	相対度数
0 ～ 3	0	0.00	3	0.06
3 ～ 6	4	0.20	7	0.14
6 ～ 9	9	0.45	25	0.50
9 ～ 12	5	0.25	9	0.18
12 ～ 15	2	0.10	6	0.12
計	20	1.00	50	1.00

このとき，次の①，②の問いに答えなさい。

① A中学校の記録の最小の階級から6本以上9本未満の階級までの累積相対度数を求めなさい。

② 上の表から読み取れることとして次の**ア**，**イ**のことがらについて正しいものには○を，正しくないものには×を，それぞれ書きなさい。

ア シュートを決めた本数が3本以上6本未満の生徒の割合はA中学校よりB中学校の方が小さい。

イ 少ない方から数えて10番目の記録の生徒はA中学校，B中学校ともに6本以上9本未満の階級に入っている。

2　大小２つのさいころを同時に投げるとき，ちがう目が出る確率を求めなさい。